

第4地区南部

本郷町、本牧町、本牧満坂、本牧荒井の一部



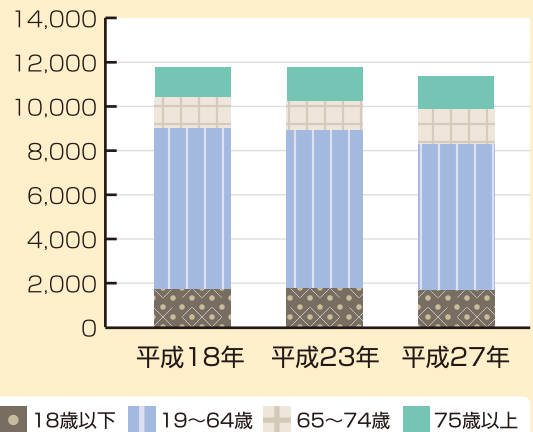
地区の現状 この地区はこんなまち

第4地区南部は、江戸時代には人々が集住していた歴史のあるまちであり、開港前からの歴史と戦後のアメリカ文化の影響を受けた独特の本牧文化が形成されています。旧路面電車の通っていた本牧通りには現在では市営バスが頻繁に通る、住民の主要な交通機関となっています。また、急な坂や階段の多い住宅地と平地の商店街エリアからなるのがこの地区の特徴ではありますが、住民が住んでいる場所の大半は丘陵地となっており、高齢者や障害者などへは大きな負担になっています。住民同士のきずなは深く、地域でのお祭りや福祉活動が盛んに行われています。

<地区内人口の推移> (単位：人) (各年とも3月末現在)

	平成18年	平成23年	平成27年
18歳以下	1,715	1,773	1,664
19～64歳	7,290	7,134	6,623
65～74歳	1,410	1,313	1,567
75歳以上	1,345	1,547	1,514
合計	11,760	11,767	11,368

18年と27年の人口を比べると、65歳以上の年齢層は増加していますが、それ以外の年齢層は減少しています。27年の高齢化率は27%と、横浜市平均22.9%、中区平均22.5%より高い数値となっています。



第4地区南部のちょっと歴史紹介

ガス山公園

大正12年頃より横浜市瓦斯局(後には、東京ガス)のガスタンクがあったことから、近所の人から「ガス山」と呼ばれています。平成24年に、「防災備蓄庫」等を備えた防災機能を持った公園として、新たに開園しました。



現在のガス山公園

この地区の 良いところ

- ◆ 長く住み続けている住民が多く、結びつきが強い。
- ◆ 住宅街と商店街とが協力し合い、見守り、配達等を行っている。
- ◆ 住宅地は、本牧山頂公園にも近く、自然に恵まれている。
- ◆ 古くから地域交流や支えあう活動が継続して行われている。
- ◆ 自治会、町内会単位でも防災訓練をして日頃から災害に備えている。
- ◆ 地域の良いところの情報を発信して、活動を広めている。
- ◆ 住人同士がお互いを気にかけており、思いやりの精神が根付いている。



元気づくり推進協議会

第4地区南部の元気づくり推進協議会は、中区内の中で一番最初(平成23年度)にでき、地域課題の解決に向けた取組を続けています。36の多様な団体が横の連携を図り、地域交流部会・福祉保健部会・商店街活性化部会と3部会で活動しています。実施している取組は、ハロウィンパレードや昔あそびの会、商店街うんちくツアーや認知症サポーター養成講座の開催など多岐にわたっています。



ふれあいサロン

8月を除く第2・4金曜日、上台集会所にて主に高齢者の方を対象に誰もが気軽に立ち寄れるサロンを開催しています。お茶とお菓子を囲んで落語を聞いたり、ミニゲームをしたり、認知症予防のための体操をしたりしています。常連の方が欠席されるとお仲間同士で心配し、安否を気遣いながら声を掛け合い絆を深めています。



今後に向けて

- ◆ 自治会、町内会館がない町内に集いの場となる拠点を開拓したい。
- ◆ 顔見知りが増えていくようなまちづくりがしたい。
- ◆ 高台に住む高齢者の方で、買い物を一人で行けなくて困っている方がいる。
- ◆ 障害のある方、施設とも顔の見える関係を築けると良い。
- ◆ 今まで地域活動に参加できていなかった方たちにも、興味を持ってもらいたい。
- ◆ バス通りにゴミを放置する方がいる。(例えば花のプランター等を設置して街の中に緑を増やしたい。)

目標と具体的な取組

第4地区南部の“えん”結び

- ◆ ふれあいサロンなどをきっかけに、地域の中で顔見知りが増えるようにしていこう。
- ◆ 誰もが気軽に集まって交流が深まるような拠点をつくろう。
- ◆ 民生委員や児童委員の方を中心に、認知症の方や孤立しがちな親子をまちぐるみで支えていけるような取組を続けて行こう。
- ◆ 障害のある方や子ども、またあらゆる年代の人々が地域の中で活躍できるように、今やっている取組をもっと多くの人に知ってもらおう。
- ◆ 昔遊びやハロウィン、商店街うんちくツアーなどの元気づくり推進協議会の活動を通して、地域に住んでいる住人を結びつけるような取組を続けていこう。



認知症サポーター養成講座の取組紹介

「認知症の方をまちぐるみで見守っていけるようになったらいいな」そのような思いのもと、地域の方が中心となって認知症サポーター養成講座の取組を進めています。「認知症の紙芝居を見て何か感じてもらえることがあれば」と最近では大人だけでなく子どもにも見てもらえる機会も増えました。この思いが多くの人につながっていくよう、これからもこの取組を進めていきます。

第4地区南部の元気！

- ◆ 健康づくり体操教室や坂の上の体操教室、大鳥元気クラブや山頂公園でのラジオ体操など、今行っている身近な場所での健康の取組をこれからも大切にしていこう。
- ◆ 男性向けの料理教室の開催など、団塊の世代の人たちも興味を示すような取組を行い、地域に関わるきっかけをつくっていこう。
- ◆ ふれあいウォークや運動会などをきっかけに、地域の活動に参加してもらうことで、こころの面でも元気でいられるようにしよう。
- ◆ 地域で行われている防災訓練などを通して、障害のある人との交流も増やしていこう。
- ◆ 食育などをテーマに地域の子どもたちとの交流を進め、まちの活性化につなげていこう。
- ◆ 食生活等改善推進員や保健活動推進員など、色々な団体が協力をしながら、地域の健康づくりを支えていこう。
- ◆ まちの中に緑を増やし、目で見ても癒され、心の元気にもつながるまちをめざそう。

第4南部地区の元気につながる活動紹介♪



健康づくり体操教室

健康への第1歩は
歩くことから
始めてみては。



ふれあいウォーク



大きく体を伸ばしたり
広げたり。
気持ちいいですね。



みんなでわいわい♪
地域の団結力も
強まります。

運動会

